

## 事前評価個表

整理番号	16
------	----

地域（地区）名	<small>さんばちかみきた</small> 三八上北地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	青森県	対象市町村	八戸市ほか15市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合等

事業の概要・目的	<p>三八上北地域は、青森県の中央部にそびえる八甲田山系の東部（太平洋側）に位置し、南は岩手県境に接し、北上山地最北端となっている階上岳に囲まれる地域である。地域全体が十和田火山の影響による丘陵地が発達し、表層土は黒ボクにより覆われ、南部は岩手県から流れる馬淵川により平野部が構成されている。</p> <p>本地域の総面積340,126haのうち森林面積は190,996ha（森林率56%）であり、国有林がそのうち42%の80,801ha、民有林が58%の110,195haとなっており、県内では一番民有林率が高い地域である。</p> <p>民有林のうち人工林は67,926haと民有林の62%で、そのうちスギが45,217haと人工林の67%を占め、9歳級をピークとした年齢配置となっている。</p> <p>しかしながら、木材価格の低迷等による間伐の遅れから、樹木の生育不良や林床植生の衰退が見られ、間伐を中心とした森林整備が必要となっている。</p> <p>よって、間伐を中心とした森林整備を推進し、水源かん養、土砂流出防止、地球温暖化防止のための二酸化炭素吸収等、森林の持つ公益的機能を発揮させ、間伐材の利用をとおして森林・林業・木材産業の振興に寄与し、資源循環型社会の構築を目指すものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：14,440ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：3,781,325千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.28 (総便益(B) = 27,921,434千円、総費用(C) = 5,279,502千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるためにも事業実施は必要不可欠である。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林資源の有効活用の観点、併せて森林整備による水源かん養、土砂流出防備、また多様な森づくりによる生物多様性等公益的機能の維持増進の観点から有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備が適切に計画されている。また、効率性、有効性も認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

## 便 益 集 計 表

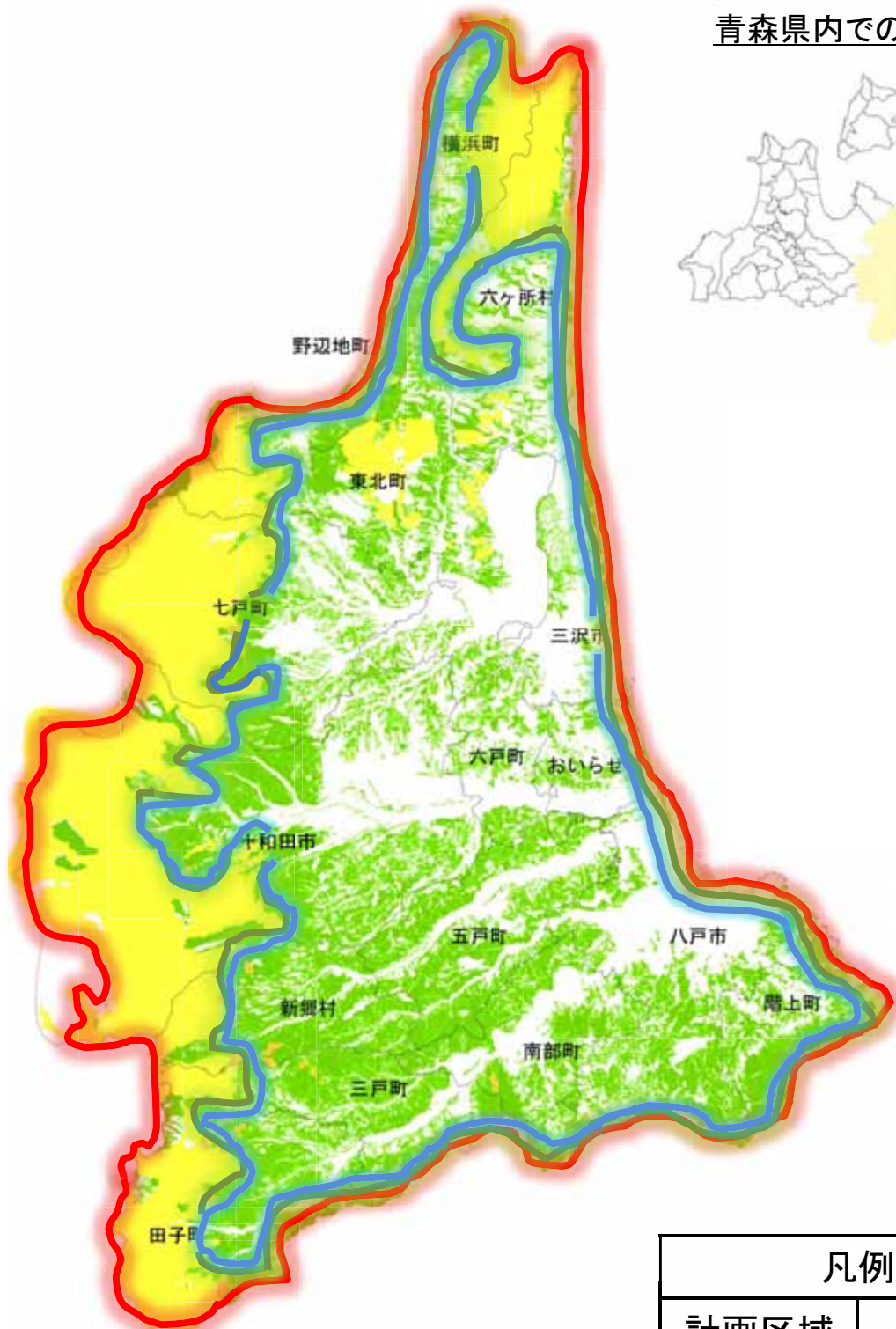
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業  
 地域名: 三八上北

青森県  
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	6,808,034	
	流域貯水便益	1,936,691	
	水質浄化便益	3,306,312	
山地保全便益	土砂流出防止便益	9,177,772	
	土砂崩壊防止便益	35,017	
環境保全便益	炭素固定便益	2,509,378	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	4,148,229	
総 便 益 (B)		27,921,434	
総 費 用 (C)		5,279,502	
費用便益比	$B \div C = \frac{27,921,434}{5,279,502} = 5.28$		

# 森林環境保全整備事業 三八上北地域(青森県) 概要図



青森県内での位置



凡例	
計画区域	
事業区域	
森林整備	